



発行 KOA 森林塾 (事務局)
0265-70-7065
編集 早川清志
題字 島崎洋路

第7回森林塾報告 テーマ「間伐」
『未来を想定した間伐』

「ねえ、昨日の夜はどうしてたの」
「そんな昔のことは覚えちゃいない」
「今夜はどうするの」
「そんな先のことはわからない」

い
こんなカサブランカのポギーのような人にはとても山の手入れは任せられません。島崎先生が提唱された保残木マーク法は、植えられた木



イントラとお揃いのヘルメットの長坂さん。真剣そのもの



まずは現況調査。樹高を測る



桃澤さんの枝払い。ゆっくり慎重に



音と煙のわりに刃が食い込まない風見さんの受け口づくり

が六十歳になった時、何本がどのような間隔で残っているかを想定して、今の手入れをするという、画期的な方法です。
お借りした浦野山林を例に取ると、このヒノキは現在およそ三十五歳、上層樹高が十七メートルくらいでしたので、二十五年後、六十歳の時には七百十本残っている、とイメージされます。樹高は二十二メートル、この時点のSrは17にするとすると・・・。
今抜き切りしなくてはならないのは、二十五年後まで残す木の生長を現在邪魔しているもの。ということは最後まで

では残らないだろうが今は切る必要がない木、というフレンジイな範疇に属する木も存在することになります。この方法の特性です。
そして今後の二十五年間、どの木をどういった順に切るかをおおよそ頭の中で決めておくのは必要ありません。
ですからやはり理想は、同じ人が同じ山の手入れを継続して行なうことではないでしょうか。少なくともそういった覚悟を持って手入れをする、そして手入れが続けら

れない場合は、何らかの形で次の人に伝える方が必要です。
途切れていた山の手入れを今は始める時、大変な努力が必要で、もしそれを乗り越えて始めることができれば、何とかそれを続けていきたいものです。
伐木造材から約一ヶ月、チェーンソーの使い方は、まだ体が覚えていてくれたでしょうか。初回ほど緊張した姿は見られなかったものの、使いこなせるようになるには、まだまだかなといった感じですが、あせらずにゆっくりと。
伐倒の時に大汗をかくのは、慣れた人でも初心者でも変わりありません。やはりそれだけ集中しているからで



もう少し肩の力を抜いてください白壁さん

今回の内容
第7回 7月20日(金) 間伐
8時30分 KOA パークに集合。梅雨明け十日、森林塾としては久しぶりに雨の心配は無い。島崎先生の顔が見えないが、携帯に「小屋にきてしまったが今そちらに向かう」と連絡が入る。保科先生のあいさつ、班分けの後、車に分乗して箕輪町、菅野高原入り口の浦野山林へ
9時15分 現地着。間伐の必要性、方法等について島崎先生の説明。「本数は変わらないのに込んでくる」という事は、背が高くなってくるからです。「隣の木との間隔が高さの二割、が目安です」肝心なと

しょう。ポイントを押さえ、理にかなった倒し方をしたいものです。



10時20分 班に分かれて現況調査に入る。込み具合は場所によってやや差が出た。数字が出たところで島崎先生の、『保残木マーク法』の説明。今回はこの方法ではなく、五年後にSr18を確保できるという事を前提に、残す、切るのゼロ・イチ判



安全靴でワンタッチラダーに、ちょっと怖い栗林さん

ころです。『山造り承ります』では非復習しておいてください。遅れてきた鈴木さんも、ご主人、混杜君とともに合流。

定をし、残すものにテープを巻き、後は切る事にしました。

11時40分 昼食、工事中通行止めのため、車で10分ほどの菅野高原に登るのをあきらめる。伊那谷の眺めが素晴らしい所なのに残念

1時 午後の部開始。各班伐倒にはいる。一番奥に入った後藤班、倒す端からかかり木に。常に綱引きの威勢の良い掛け声。不思議なことにこの班には女性が一人もいない。宮崎、野口班は切るべき木の本数が少なかつたので早々に切り終え、ぶり縄講習を開始していた

3時30分 間伐終了
4時 KOAパインパークに戻り解散。
5時から暑気払い開始。みはらしの湯へでもどうぞ。でも遅くなると生ビールがなくなつてし



久部さんのぶり縄、落ち着いています

まつかも
参加者/奥嶋さん、風見さん、片岡さん、菅さん、栗林さん、佐藤(健)さん、佐藤(誠)さん、塩谷さん、白壁さん、溜さん、伴野さん、長坂さん、久部さん、逸見さん、松永さん、松ノ元さん、松本さん、桃澤さん、森さん夫妻、山浦さん、池田さん、稲垣さん、岡田さん、鈴木さん、則竹さん、芳賀さん、小川さん、藤本さん

講師/保科先生、島崎先生
スタッフ/川島、後藤、野口、宮崎、大野、椎原、平林、坂野、坪木、此村、早川

次回以降の予定

Bコース夏の部

8月1日(水)~3日(金)
1日10時島崎先生の山小屋に集合。測樹、間伐、伐出の一連を体験していただくと思います。『山造り承ります』での予習をお勧めします。二十名(うち女性三名)の方の参加予定。



見ていて安心できる溜さんのぶり縄

第8回 8月18日(土)
伐出

8時30分 KOAパインパークに集合。間伐を行った箕輪町の現場で行なう予定です。林内作業車や、簡易ウィンチ等を使って材木を出します。

【暑気払い】

暑い夏にはビールが一番? そんな訳で今年も島崎先生の山小屋をお借りしてのバーベキュー大会の開催です。

今年のお祭の方は酒豪ぞろい、用意された食材とお



島崎先生と語り合う塾生の方々

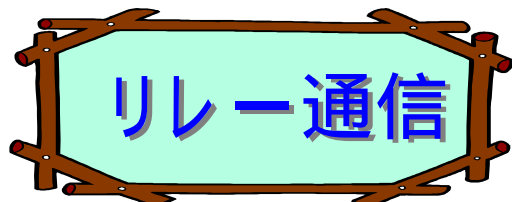
食されたでしょうか?

そうはいってもやはり森林塾の塾生、酒のつまみは環境問題、福祉の問題、山の問題など、日ごろ抱いている熱い思いを十分語り合っていました。(酒好きカメラマン)



第9回 9月1日(土)
林道設計

測量道具を使って作業道を設計してみましよう。それを手作業で歩道として開設してみたい。現場は伊那市手良の野底区有林を予定しています。8時30分KOAパインパーク集合。



森林塾と私
片岡 浩

私は現在、天竜川の下流である浜松市に生活しております。今年の一月末にて地元鉄道会社を定年退職したところであり、定年を迎えるにあたり、あれこれと自分でもやりたい仕事を検討物色してやりましたが、今やっている仕事を除けば何をやるにしようか、という認識と、忙しさにまかされてしまった始末です。

しかし、興味のある「山や森」に関する記事は熟読するとともにファイルをしておりました。新聞の「里山を見直す」という特集を読んでいると、島崎先生の「山造り承ります」が飛び込んできました。早速図書館にて借りて読破しましたが、そこには森林の惨憺たる現状と山を愛する先生の苦悩が切々と語られ、



山を守るうとする先生の心意気を感じました。私もずぶの素人であり、さらに高齢でもあるが、健康だけは自信を持っていてるので、少しでも何かの役に立つことが出来ないうものかと考えさせられました。

森林の重要性は温暖化対策、水源確保等々、枚挙するまでもなくメディアにより叫ばれておるのに、森林の窮状を救う対策が何ひとつ実行されていない現状を知るに至りました。定年後の私にも、「この状況をなんとかしなければ！」という気持ちがあふつふつと湧いて来ました。知識経験がゼロで、さらに高齢の私が役に立つことは皆無かも知れないが、これからの第二の人生二十年を、山や森にどうしてもかかわってきたいという思いが勝りました。

これら私の気持ちの根底には、自分が小学一年から中学三年までの九年間を大

井川の支流の山村に疎開して、多感な時期に田舎の山や森林に育てられたという思いがあるからだと感じております。この田舎の生活は、決して楽しいことばかりではなく、腹をすかせ着るものもないう時代であったのに、山や川そして森林で友達と楽しく飛び回った事や、美しい自然、まわりの人々との懐かしい交わりばかりが思い出されまます。まさに、

兎追いしかの山
小鮎釣りしかの川
夢は今もめぐりて
忘れがたき故郷
であります。また私の好きな短歌に

石ばしる垂水の上の
さわらびの
萌えいずる春に
なりにけるかも
があります。これも山村暮らしの早春に目にした感動があればこそと考えられ、田舎ぐらしが如何に大きな情操教育をしてくれたものだと感じ入っております。



これら思いのなかで森林塾に応募させていただき、塾生の一人に加えていただいた事を心から感謝するとともに、この一年間の研修をやり多きものとすべく、身を引き締めるものであります。

今までに六回の研修を経験してみても、自分の体力の無さを実感し、さらに山仕事の継続する事の大変さをも覗かせていただいた程度ですが、その中に面白味を感じることも出来ました。それらの研修を簡単に振り返ってみます。

第一回 植樹

一本の苗木を植えるのに一辺三十センチメートルの穴を掘るといふ事はまず、雑草と木の根との戦いの末に植えるのだと分かった。十数本を植えただけなのに、息が切れ顔には白い塩がこびりつき、体力の無さを思い知る。

昼食後の皆様の自己紹介を聞かせていただき、それぞれに森林に関して深い思い入れと経験や行動をしておられる事を知り、自分の無知を恥じ入りました。

第二回 測樹

森林の見方の基本とはこういう事なのかと納得させられた。また、最後に先生から親指をかざして、自分の周りを一回転するだけで森林全体を判断できる方法がこれだと言われた時は、サスガと感心しました。

第三回 樹木分類

標高千四百五十メートルのブナ帯までの散策での先生か

ら樹種説明は、あたかも小学生になったような新鮮な驚きを持って聞かせていただき、大変楽しいものでした。今では、町なかの公園に吊るされた樹種看板を必ず覗き込むようになりました。

第四回 伐木造材

思った通りの方向に伐倒できるのはどうしてなのだろうと不思議に思っていました。ツルを知り、自分でも真似事ができるようになり、大満足。

第五回 測量製図

コンパスでの測量、分度器による製図、サイン・コサインの計算は学生時代を思い出し楽しかった。しかし、誤差の大きさと不器用さについては、思い知らされました。

第六回 下草刈り

足場の悪さと、イチゴやバラ等の中での下草刈りの大変さを知りました。まだ今回は、日陰もあり小面積でもあり、下草刈の「さわり」をやらせていただいたのみと思いましたが、たつぷりと汗をかきました。また鎌の刃を大きく欠いてしまい、保科先生の言われた「鎌を見れば、どのような仕事をする人か分かる」とのこと、「失格者だな」と自覚しました。

以上六回の研修を受けたのみで、山にかかわる仕事についてうんぬんすることはできませんが、「どうしても山にか

かわる仕事をやっていきたい」と思う気持ちは一層深くなりました。

後半の研修については、今までの以上の集中力を持って頑張りなくてはと思っております。今後は「山にかかわること

を念頭におき、さらに知識経験を積み機会を求め、チャンスを逃さないようにしなければとつくづく思うものであります。また私達の年齢になると通常の雇用からは敬遠されることを勘案すると、よほど心して良い情報入手する

最後に、この森林塾の素晴らしい先生とスタッフの方々、そして縁あって一緒に学ぶよき仲間の皆様との出会いを大切にしてゆきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

リレー通信

「脱 都会生活」 菅 浩治

今年の三月まで東京に住んでいました。医療機器の設計に携わっていたのですが、会社のあり方や自分の生き方に疑問が生じ、伊那に移り住んできました。今は伊那技術専門校で木工の勉強をしていま

す。技術専門校は他の地方にもありますが、その中で伊那を選んだのはもちろんKOA森林塾に参加したかったためです。最初は抽選に漏れたのですが奇跡的にキャンセルの人が出て敗者復活で森林塾に参加できることになり、とても運が良かったと思えます。

伊那は別のエピソードがあり、去年スイスに行ったときに、たった一人だけ一緒に夕食をとった人がいたので、その人はなんと伊那の人でした。伊那は何かと運命めいたものを感じます。伊那は自分が抱いていた理想郷にぴったりではないが近いところだと最近感じています。その伊那での週末の生活の一部

ともに、独創性ある知識経験を積み重ねなければと考えます。



をちよつと紹介したいと思
います。

四月

高遠城址公園の桜が有名で
すね。朝七時に到着したので
すがそれでも人がたくさん
いました。有名なだけあって
桜は見事ですが人の多さに
はつんざります。近くにあ
るしだけ桜のほがひっそ
りとした感じで良かったで
す。特に祭りにこだわらな
ければ、城址公園の近くに花の
丘公園というところがあり
ます。城址公園よりちよつと
遅れて桜が咲きますがそち
らの方がいいと思えました。
その他にも梅、リンゴ、桃な
どこの時期には木の花がた
くさん咲きます。

この時期は天気がいいこと
もあって毎朝のように南ア
ルプスがいよいよ見えます。
五月

山吹色がこんなに鮮やかな
ものだとは知りませんでした。
四月の終わり頃から五月
の初旬にかけて山吹がこれ



でもかと咲き乱れています。
いつもお世話になってい
る吹公園のツツジ祭り。自分
は月に一度蕎麦打ちを習っ
てるのですが、そのお手伝
いで蕎麦を無料で配りました。
朝集まって、みんなで蕎麦
打って、約八百食を茹でて出
しました。みんなからおいし
いと言われうれしかったで
す。

伊那では家庭の庭先で山菜
が採れます。こごみ、タラの
芽など採って食べました。
六月

木曾に奈良井宿という中山
道の宿場町がそのまま残った
ところがあります。ひっそり
としてじつにいいところ
です。聞くところによると人
生にちよつと疲れた若い女性
に人気とのことです。静かに泊
まりたい方にはうってつけ
ですね。

梅雨に入る前に上高地に
行って来ました。朝気が良
かったので慌ててザックにテ
ントやら詰め込んで徳沢で
キャンプし

ました。やはり人の多
さは辟易しました。キャン
プ場はシーズン
の始まりとい
うこともあ
って、のん
びり出来ま

した。上高地は噂通りきれ
いところで、夏休みの平日
また行くと思っています。

後半はホテルのシーズンで
す。伊那周辺にはホテルの
有名なのは辰野のホテルで
すが、やはり人が多くてホ
タルの雰囲気にはあいません。
自分は狭いけれどもひっそ
りとゆつくり楽しめる近場
の沢が好きで、よく通いま
した。今年はずっと数が少
かったみたいですが十分に
想の世界に浸ることが出来
ました。

七月

ラベンダーと言えば北海
道？いやいや長野も負けて
いません。あちこちにラ
ベンダー畑があります。松本
の北に池田町というところ
が、何種類ものラベンダー
が咲いています。場所がち
よつと分かります。所にあ
ります。落ちていていいと
ころです。

中旬頃になると、中央アル
プスの花のシーズンです。会
社時代の友達と木曾駒ヶ岳
に登ってきました。駒ヶ岳は
朝眺めています。梅雨の時
期はいつも雲がかかって
いる山です。我々は日頃の
行いがいいせいか天候には
恵まれました。夕焼け、満
天の星空、朝焼け、日の出
と空を満喫しました。駒ヶ
岳からは三百六十度のパ
ノラマが広がります。

した。高山植物は咲き乱れ
去年行ったスイスを彷彿さ
せる景色でした。

七月以降

これからは何かあるんだろ
う？ 楽しみなものは...
トウモロコシが大きくな
って来ました。朝取りの
ものをすぐに茹でて食べる
とおいしいでしょうね。ま
た山に登りたいな。秋には
紅葉、きのこ、冬は駒ヶ岳
見るダイアモンドダスト、
誰かの家で薪ストーブを一
日いじりながら本でも読ん
でいたいですね。三月九日
には技専まつり(自分たち
の作った家具を展示販売し
ます)がありますのでどう
ぞお越しください。

本業の木工はこれからが
正念場。自分は年齢の関
係もあって就職は難しい。
でも人生あせらず、ぼちぼ
ちやっていこうと思う。そ
んな気持ちにさせてくれる
のも森林塾に集まってくる
正体不明の人々のおかげか
な？ これからもよろしくお
願ひします。



コラム

伊那で過ごす初めての梅雨
シーズンは、7月に入っ
てから続いた中休みの猛暑
のま、十一日に明けてしま
した。残暑の頃から始ま
って、秋・冬・春と過ぎ、
この夏で伊那の四季を一周
りしたことに似ていますが
、今年の梅雨は参考になる
のか。六月中は雨が降ると
寒いというのが一番強い
印象です。

今年の夏は、ここ伊那も例
年以上に暑いという話です。
それでも県内では軽井沢と
同じくらいの気温で、松本
や飯田に比べればまだまだ
といったところでしょうか。
伊那に吹く風はとても乾いて
いて涼しいので、風さえあ
れば避暑地と言っても過言
ではないと思います。かとい
って観光客が詰めかけるわ
けでもないし、ますます伊
那が好きになりました。

先週の森林塾後の暑気払い
は、ますます暑気を呼び込
みそうに盛り上がりしてい
ました。そんな中を抜け出
して翌朝から木曾駒ヶ岳(西
駒)へ涼を求めに行ってい
ました。昼間の道中はさすが
に涼しいばかりとはいきま
せんでしたが、山頂付近で
の宿泊はストーブの火に引
寄せられる寒さでした。翌
日にはまた下界へ戻り、ほ
んの束の間自然のクーラー
でしたが、エア

コンの涼風より体にいいこ
間違いないです。この先
あまりには一番暑い時期
となりますが、海や山や高
原へ自然の涼を求めて行
ってみませんか？(いい所
あったら教えてください)
(テッカマン)

おわりに

早々に梅雨が明けて喜ん
だのもつかの間、近年に
ない暑い夏が続いています。
身勝手にも早く涼しくな
ってほしいです。Aコース
は約一ヶ月間の夏休み。ま
たお盆の18日にお会いでき
ることを楽しみにしてい
ます。

Bコースの方お待ちせし
ました。暑いといっても信
州伊那谷、しかも山荘ミ
ルクは標高約千メートル、
朝晩はとて涼しくひよつ
として肌寒く感じるほど
か。涼しさもお楽しみ
ください。お会いできる
ことを楽しみにしてい
ます。

投稿大歓迎。ご意見、ご質問、
ご要望、事務局まで。
TEL 0265-70-7065
FAX 0265-70-7994
E-mail:
ki-hayakawa@koanet.co.jp
sh-sakano@koanet.co.jp
mi-tsuboki@koanet.co.jp
携帯:0902-53-26375 (開催日)
H.P.http://www.koanet.co.jp

